

■授業の目的及び到達目標

技術・家庭科の技術分野の教育課程、指導内容・方法等について、法令、学習指導要領、各種報告書、教育研究等を通して理解するとともに、教材作成・開発、事例研究等を通して実践的な知識・技術の習得と技術科の授業における実践力の育成を図る。

学習指導要領等に示された技術分野の目標、指導内容、指導上の留意点、学習評価等について理解し、技術分野の授業計画と学習指導案を作成し、具体的に授業を実践できる力を習得することを到達目標とする。

■授業計画

- 1 教育課程上の技術分野の位置づけ
技術教育の意義について自分の考えをまとめさせる。
- 2 技術分野の目標
中学校技術・家庭科、技術分野の教育の意義を解説するとともに、学習指導要領における技術分野の目標を分析する。
- 3 学習評価①
学習評価の在り方について解説し、「材料と加工に関する技術」について評価規準を検討する。
- 4 学習評価②
「エネルギー変換に関する技術」について評価規準を検討する。
- 5 学習評価③
「生物育成に関する技術」について評価規準を検討する。
- 6 学習評価④
「情報に関する技術」について評価規準を検討する。
- 7 授業設計
ものづくりなどの実践的・体験的な学習の進め方、授業設計の在り方について検討する。
- 8 指導計画
技術分野の年間指導計画、評価計画について検討する。
- 9 教材の取扱いと学習指導案
技術科の教材の取扱い、学習指導案の作成方法について解説し、実際に学習指導案を作成する。
- 10 キャリア教育と技術教育
キャリア教育の視点に立って、技術科の指導の在り方について検討する。
- 11 安全教育
技術分野の実習における安全教育、事故対応等について検討する。
- 12 教材開発①
技術分野における4つの技術を総合的に扱う教材について検討する。
- 13 教材開発②
発展的な学習を探究し、学習の展開方法について検討する。
- 14 教材開発③
知識基盤社会における技術の進展に伴い、創造性を育てる指導の在り方について検討する。
- 15 学修のまとめ
学修のまとめとして、論述形式の試験を行い、解説する。

■授業の方法

毎回テーマを定めて、教科書、資料を活用しながら講義及び課題解決学習を行う。実習、教材作成、演習、研究協議など体験的な学習を多く取り入れ、実践的な学びを重視する。

■予習・復習

教材や指導計画作成の課題を行い、授業で発表する。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

課題の提出状況から授業への取組を評価する。論述形式の試験を行い、到達度を評価する。
試験60%、学修への取組状況（課題の達成状況等）40%

■教科書・参考書

参考書：文部科学省「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説—技術・家庭編—」を使用。

■関連する科目

技術科教育法Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ

■当該科目の実務経験（該当する場合のみ記載）

担当教員は、東京都公立高等学校に37年間勤務し、進路指導・生活指導・学校改革・研究活動に関する分野に研究実績を積んできており、それを本科目の指導に生かしていく。